

【社会科・中3・「現代の民主政治と社会」】①

育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

地方自治の現状から考えられる課題と今後の対策について、「効率と公正」「持続可能性」等の視点から多面的・多角的に考察し表現できるようにする。

ICT活用のポイント

本時で扱う資料の読み取りを家庭学習で取り組ませることによる時間短縮、並びに本時の話し合い時間の十分な確保による思考力、判断力、表現力等の育成

【つかむ】

前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。

【追究する】

資料から地方自治の現状を捉え、そこから見える課題と今後の対策について考える。

【まとめる】

本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。

事例の概要

- 前時の地方自治の仕組みについて、重要語句とともに振り返る。
- 家庭学習で取り組ませた4つの資料を提示し、めあてを確認する。

<めあて>地方自治の課題をとらえ、地域の「持続可能性」から対策を考えよう！

【事例におけるICT活用の場面】

- 家庭学習において取り組んだ資料から読み取った情報について、確認をする。**ICT端末の活用(事前提出による時間短縮)**
- 資料から読み取った情報の意味や意義について各グループで話し合う。**ICT端末の活用(情報共有)**

- まとめと振り返りをICT端末に記録し、蓄積する

【社会科・中3・「現代の民主政治と社会」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

写真1

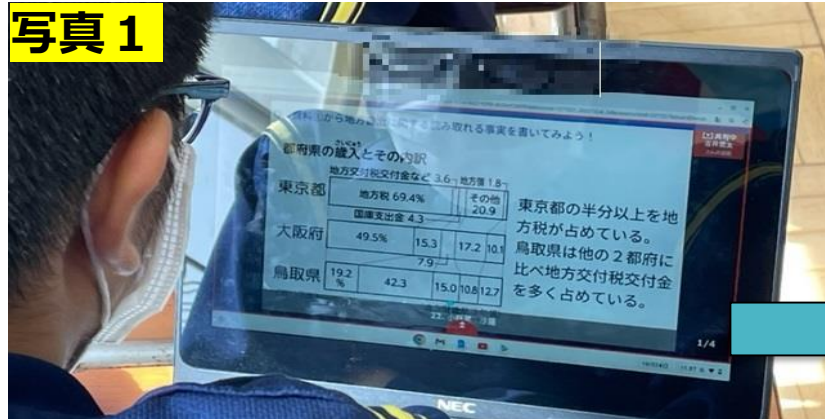
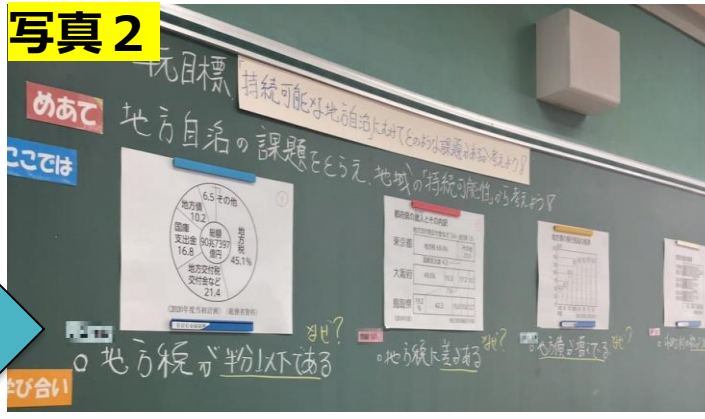


写真2



【写真1】
家庭学習で資料の読み取りを行い、ICT端末で事前提出

【写真2】
本時では、生徒が読み取った情報を事前にチェックし、意図的指名で内容確認

4つの資料の読み取り作業を家庭学習で事前に取り組ませることで、本時では資料から読み取った情報の確認時間を短縮するだけでなく、事前に教師がその解答をICT端末でチェックすることによって、意図的指名によって生徒の活躍の場面を増やすことにつながることができた。また、短縮した分の時間を個人や班が思考したり、話し合ったりする追究時間に充てることができた。

【事例におけるICT活用の場面②】

写真3



写真4



【写真3】
グループで、資料から読み取った情報の意味等について考え、ICT端末に記入

【写真4】
予習型家庭学習により生み出された時間を、教師がコーディネーターとなって話し合う時間に生かす

グループでの追究場面では、4つの資料から読み取った情報の意味等に話し合いをさせ、ICT端末において共同編集により情報を整理させた。教師は、班で話し合った考えについて問い返し、板書で複数の資料を関連付けて捉えられるように整理をすることによって、地方公共団体が抱える課題を捉えさせることに十分に時間をかけることができた。